

# “垂水暮らし”が好きになる



暮らしを彩る人・自然・文化にあふれたまち



P2-3 インタビュー 大久保かれんさん (DJ)

## “程よい”があふれる暮らし

P4-5 密着レポート

ママがいきいき～リズム戦隊ママレンジャー～

P6-7 暮らす、遊ぶ、働く、学ぶ人にインタビュー

垂水の魅力を聞きました

P8-9 見て納得・発見 データでみるたるみ

P10-13 主要事業を分かりやすく解説  
まちづくりの取り組みを紹介

P14-17 文化・行事・スポーツ 年間イベントを紹介

P18-21 6生活文化圏の暮らし心地をより詳しく

P22-23 「垂水区計画」とは 2020年に向けたまちづくり

### 編集・発行

神戸市垂水区役所

〒655-8570 神戸市垂水区日向1丁目5番1号 / TEL 078-708-5151

神戸市企画調整局総合計画課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 / TEL 078-322-5029-30

神戸市広報印刷物登録 平成27年度第602号(広報印刷物規格A-6類)



神戸市はユネスコに認定されたデザイン都市です



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



# “程よい”があふれる暮らし

“住のまち”として多くの人に選ばれる垂水区。暮らし始めた人、暮らしている人の声を通してその魅力に迫ります。  
インタビュー第一弾は、ラジオDJとして優しい声で多くの人を魅了する大久保かれんさん。  
国内や海外での暮らしを経た中で、ずっと暮らし続けたい場所として選んだのが垂水区でした。



垂水のまちは世界の中でも  
誇れる場所です。

撮影場所／恋人岬(東垂水)

## 大久保 かれんさん

1968年12月26日、神戸生まれ。6歳～10歳までアメリカ・ニューヨークで暮らし、帰国後は横浜へ。12歳で神戸に戻る。甲南女子大学文学部仏文科を卒業後、1992年4月に神戸のKiss-FMでDJデビュー。ラジオDJだけでなくテレビ番組も担当する。2014年からヨガのインストラクターとしても神戸を中心に活躍している。神戸や兵庫県をこよなく愛し、その魅力を伝えるべくさまざまな形で活動中。



ホームページ  
<http://radio.karen.fm>

出かけてみて！  
撮影場所には選ばれたのは、垂水が誇る  
眺望スポット、恋人岬。明石海峡大橋が一望できます。  
山陽電車「東垂水」駅から約5分、  
JR「垂水」駅から約10分の場所にあります。



## 大好きなハワイの 雰囲気 似ているんです



父親の仕事の関係で、これまで神戸、ニューヨーク、横浜で暮らしてきた大久保さん。中でも、小学6年生から今まで、最も長い時間を過ごしている神戸は、「一番のふるさとで私の拠点」という大切な存在です。家族で暮らしていたのは六甲山に近い場所で、学校の遠足で裏山に登ったり、六甲山を縦走したりと豊かな自然に包まれて育ちました。当時、垂水区には友人と遊ぶために訪れる程度で、「足をのびして週末に出かけるイメージでした」と振り返ります。垂水区で暮らしたいという思いが生まれたきっかけは、2000年に仕事で訪れたハワイでした。「初めてなのに懐かしく感じました。ハワイには子どものころの日本の雰囲気が残っていて、「たたいま」と言いたくなるんです。海に近い、ゆったりとした心地良い空間で暮らしたい

平磯緑地、平磯芝生公園から  
恋人岬につながる遊歩道



夏のアジュール舞子は  
海水浴客でいっぱい



垂水の自然を  
感じながら  
ヨガをしていますよ

ホテルセントレのチャペルにてグラウティヨガ

## 今のまま、 自然があふれるまちで あってほしい

大久保さんにとって、「訪れるまちから、暮らすまち」に変わった垂水。友人たちが遊びに来るとまず口にする「なんていいところなの」の言葉がとて誇らしいといいます。「自然が豊かで程よく刺激的で都市っぽい雰囲気がいいんでしょうね」と分析します。同時に垂水のまちを知っていくとともに「古くからあるまちの雰囲気、歴史を感じる史跡や建物、自然を、住民である私たちが残していかなくてはいけない責任」を感じています。  
ヨガのインストラクターとしても活躍中の大久保さんは今、「垂水のまちが持っている魅力やヨガを通して伝えることができた」と考えています。「五色塚古墳や砂浜の美しいアジュール舞子など、自然を感じられる素敵な場所がたくさんあります。自然の中でヨガのレッスンをし、その場所自体の良さをいろいろな人に感じてもらえたら」と構想します。まちのこれからについて「今のままであってほしい。自然を残してほしいですね」と語ります。「まちの歴史をもっともっと知りたいです。暮らしている人以外は知らない、そんな魅力を紹介できたかと思っています」。



# ママがいきいき

垂水区には子育てを楽しみながら、自分の時間も充実させているママがたくさん。  
そんなママたちのプラスバンド「リズム戦隊ママレンジャー」の練習におじゃましました。

子どもたちもメンバーの一員  
演奏中にはぎやかです

「家の近くに子どもを連れて演奏できる  
プラスバンドがあったらいいな」という、  
楽器や音楽を続けたいママたちが2011  
年に結成しました。4人からスタートした  
メンバーは、今では約40人に。ママたち  
にとって活動は「生きがい」「自分磨きの場」  
など大切な時間になっています。ママが真  
剣な表情で演奏中、子どもたちは周りで  
おもちゃで遊んだりかけ回ったり、横に  
なっつくくらいだとさまざま。楽器を吹  
くママの体にびったりくっついたままの子  
どももいます。週1回の練習のほか、区内  
の保育施設や老人施設、区のイベントで演  
奏を披露。活躍の場を広げています。指導  
する垂水区音楽協会会長の坂岡裕志さん  
は「自分も聞いた人も楽しめる音楽を心  
がけています」と話します。グループをま  
とめる隊長の杉本穂さんは「遊んでる  
様子を見て子どもの成長も感じられるの



野外での演奏

見学希望や出動希望の問い合わせは  
<http://rizumama.grupo.jp/>まで



フレンドママは  
ピンクのエプロンが  
目印

フレンドママの村上美智さん  
「小さな友達か  
たくさんできました!」

がうれしい。これからも活動を続けてい  
きたいです」と笑顔で話します。

練習中はフレンドママが  
子どもたちを見守ります

ママレンジャーの活動を支えているの  
が、子育て支援のボランティア「フレンド  
ママ」の存在です。フレンドママは、研修  
を受け、垂水区長が認定した子育てアド  
バイザーの先輩ママのこと。区内の子育て  
サークルや児童館のお手伝い、ママのサー  
クル活動中の子どもを見守りなど、300  
人以上が活躍しています。  
ママレンジャーでは、結成当初から子ど  
もたちの見守りをフレンドママにお願いし  
てきました。「子どもを見てもらう貴重な  
時間」「子どもに怒りなくなる時に」「大丈  
夫」って声をかけてもらえてうれしけれ  
た」と信頼を寄せています。部屋から出よ  
うとしたりトイレに行きたそうな子ども  
の様子をいち早くみつつけたり、げんかにな



## もっと詳しく「フレンドママ」

どんな人がなれるの?

子育て中のママを応援し  
たいという、先輩ママが対  
象です。さまざまな年齢の  
ママが活躍中です

関心はあるけど難しそう?

全7回の養成講座で、子育て  
の現状やアドバイザーとしての  
心構えなどを学びます。保育所  
などでの実習もあります。

フレンドママに会える場所を知りたい、フレンドママになりたい人は  
垂水区子ども家庭支援課  
TEL(078)708-5151 FAX(078)706-2329へ

りそんな子どもの中にそっと入るフレンド  
ママ。常に子どもたち全体に目を配る先  
輩ママがいることで、演奏中のママは安心  
できるそうです。子どもと同じ空間で大  
好きな楽器に打ち込める時間が、ママの元  
気につながっています。



ママレンジャー隊員  
4人に聞きました

## 地域のイベントに子どもたちは大喜びです



「子育て」をテーマに盛り上ったのは、子どもたちの身近な交流の場についてでした。井上さんは「地域に、同じくらいの年齢の子どもが多いことが一番の良さです」と話します。区外から転居してきた熊

田さんは「児童館があちこちにあるのがすごい。未就学児が遊べるのもよかったです」と話します。区内には、児童館と学童保育が計25カ所あり、自由に利用できます。津村さんは、たまたま児童館でみかけた貼り紙が、ママレンジャーとの出会いだったそうです。子どもを見守る地域の雰囲気

も垂水区の良さ。平阪さんは「夏祭りやクリスマス会など地域のイベントが充実していて、子どももとても喜んでます。地域の人が、子どものことを見守ってくれているのがうれしい」と話します。



暮らしやすさで大きかったのが交通の便。子どもの移動について、「バスでいろいろな所へ行ける」「電車が多くて便利」の声が上がりました。垂水区ならではの、海、山、橋の風景も魅力です。「便利で自然環境がよくていいですね」と熊田さん。平阪さんも「程よく都会で程よく田舎。過ごしやすく大好きです」。ママたちは、いつまでも子どもたちが伸び伸び暮らせる垂水を願っています。



右から  
井上 亜紀さん  
(トロンボーン)  
津村 麻奈さん  
(オーボエ)  
熊田 美和子さん  
(トランペット)  
平阪 朋子さん  
(アルトサックス)

子どもたちも  
自然と仲良しに



喫茶レストラン「BRAZIL」専務  
竹中一成さん

「垂水」駅前の商店街でお店を経営する若手が企画して、2015年7月に初の夏祭りのイベントを開きました。当日は驚くほどの子どもたちが集まり、「またやってほしい」の声に手応えを感じました。地域に密着したこのお店をずっと続けたい。そのためには商店街全体がにぎわうことが必要ですね。

喫茶レストランBRAZIL神戸垂水店 住所/神戸町4-20 TEL/078-708-6868

温かい人間関係が  
生きている



親子3代  
垂水に住んでいます



(株)センタードラッグ  
(左)社長 猪塚靖脩さん  
(右)会長 猪塚康良さん

薬局の3代目として父から家業を継ぎました。調剤や販売だけでなく、薬を使うタイミング、薬に頼らない健康づくりなども伝えるお店づくりをしています。祖父の代から垂水でお店をしているので、代々通ってくれるお客さんも多いです。今後は、外出しにくくなった高齢者の方々の要望にも対応できるようにしたいです。

センタードラッグ本店  
住所/神戸町3-23 TEL/078-707-8881



地域で子育て  
見守ります

特定非営利活動法人 輝かすみが丘理事長  
梶井啓子さん

霞ヶ丘の小学校区を範囲に幅広い世代を対象に活動しています。2005年に五色塚で親子を対象にした農業体験を始めました。翌年には教育委員会から五色塚古墳の管理業務を受託して、古墳周辺に残る自然を生かしたこの事業を継続しています。野菜の成長を楽しみにしたり虫に触れるようになったりと、親子で学べる貴重な場になっています。

霞ヶ丘に出掛けたら行ってみよう  
五色塚古墳  
住所/五色山4丁目 アクセス/山陽電車「霞ヶ丘」から東へ約300m

魚料理の  
おいしい店が  
たくさん



神戸市漁業協同組合  
加工冷蔵課  
遠藤亮介さん

垂水といったらイカナゴ!春になるとぎ煮の甘い香りが街中に漂い、垂水漁港は一年で一番忙しくなります。直売所ではくぎ煮、ちりめん、海苔等を販売しています。区内には漁港で水揚げされた魚を出すお店もあちこちに。もっともっと地元の水産物食べてほしいですね。

おいしいイカナゴ、ちりめん、海苔は  
神戸市漁業協同組合直売所!  
住所/平磯3丁目1-10  
TEL/0120-333-132

2013、14、15 神戸よさこいまつり学生実行委員会  
久宗千夏さん

大学のよさこいサークルの先輩に誘われて実行委員になりました。私の大好きな会場の一つが舞子公園。各グループの伸び伸びとした踊り、ここならではの海と明石海峡大橋の舞台背景が魅力です。お客さんも参加できる「総踊り」もお勧め!ぜひ垂水の皆さんにも楽しんでもらいたいです。

まつりは毎年9月頃に開催!  
参加したい、ボランティア希望の人は  
<http://kobeyosakoi.com/>



景色が踊りを  
盛り上げます

暮らす、遊ぶ、働く、学ぶ

# みんな垂水が大好きです!

さまざまな年代の、さまざまな垂水ライフを過ごしている皆さんに 暮らし心地やまちへの思い、垂水の魅力についてインタビューしました。



音楽家、  
旧グッゲンハイム邸  
管理人

森本アリさん  
恩君 万紀子さん家族

管理を始めた当初は特に有名でなかった塩屋の異人館は今、コンサートや撮影、教室やイベント会場などいろいろな人に利用されています。レトロなまちなかの雰囲気の良さがだんだんと広まった気がします。塩屋には、昔からのお店や街並み、不思議な段差、ひとくせある魅力的な店主など、面白い人もいっぱい。塩屋を歩けば、変わらない昔からのまちなかの姿に満足してもらえそうです。

毎月第3木曜日に見学会を開催  
旧グッゲンハイム邸  
住所/塩屋町3-5-17  
TEL/078-220-3924

そのまま  
いいよ

いい仲間  
出会えます

垂水マスターズ・クラブ代表  
内田博幸さん

会社を退職後、垂水区マスターズ・ゼミを受講し、素晴らしい先輩や話し合える仲間が大勢出会いました。ゼミのOBで構成するクラブのメンバーでスポーツをしたり、区のイベントや区内の学校でボランティアをしたりと、忙しい毎日を送っています。ボランティアでは、いろいろな人と交流し、子どもたちと一緒に笑っています。ゼミを受講すると自分が変わると感じます。新しいことを始めたい男性の皆さん、ぜひ一度ゼミをのぞきにきてください!

マスターズ・ゼミの申し込み、問い合わせは 垂水勤労市民センターへ  
TEL/078-708-8901

アジア雑貨と茶みせ パンパラ店主  
佐々木珠美さん

山陽電車「滝の茶屋」駅近くで、アジア雑貨販売と喫茶を併せた店を開いています。店舗は、昭和な雰囲気が一目で気に入った空き家を改修。この辺りは昭和の佇まいが残り、近所の人との距離が近くて心地良いです。2014年からは駅周辺の店舗で合同イベント「かえるまつり」を開催し、人の流れを作ろうと頑張っています。

お店情報はここでチェック  
<http://panpara.in.coocan.jp/>



おもしろいお店が  
増えています

垂水で新婚生活  
柿内エライジャさん  
由佳さん夫妻

結婚を機に垂水区で暮らし始めました。活気ある商店街にいいお店、アウトレットなどがそろい、区の中だけで暮らしていけそうです。休日は二人でランチをしたり、細い路地に入ってみたり、神社の祭りに出かけたり。新しい発見を楽しんでいます。まだまだ面白いスポットを探検したいです。初めは坂道に驚きましたが、バスも電車も本数があるので不便を感じません。これからも個性・特徴をもったまちであってほしいですね。

お気に入り  
は商店街

入り組んだ  
路地が好き!

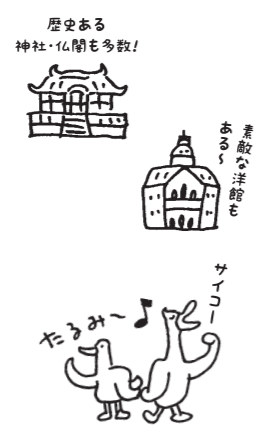




面積 **28,11m<sup>2</sup>**  
市内で3番目に小さい

人口<sup>\*7</sup> **219,664人**  
市内で2番目に多い

世帯数<sup>\*7</sup> **95,531世帯**  
市内で3番目に多い



学童保育の数 **25カ所**

学校の宿題をしたり遊んだりしてま〜す!

児童館と学童保育コーナーでは放課後に小学生を受け入れています。おもちゃで遊んだり本を読んだり、宿題をしたり。体を動かせるスペースもあります。元気な子どもを職員が見守ります。\*6



子育て環境が整っているから子どもが増えます。地域で、家族で楽しく子育てできるまち♪

43人くらい

なんと、市内でトップ!

出産した子どもの平均人数 **1.45人**

女性が出産する子どもの数(合計特殊出生率)が1.45人。全国平均の1.38人を上回ります。親や地域のサポートが手厚いから2人目、3人目と家族が増えるのかもかもしれません。\*3



垂水には / **ちょうどいいがたくさん!!**

大阪、姫路、淡路島へ。車を使っても電車を使っても、どこに行くにも便利な垂水区。仕事にレジャーに子育てに、誰もが過ごしやすいまちです。小さなまちにいろんな魅力がぎゅっと詰まっています。

昼間人口比率 **77.8%**

市内で最も低い数値です。住むには快適なまちですが区内に事業所が少ないので、昼間は区外に仕事に出かける人が多いです。\*9



まちなかの公園の数 **3位**

251カ所

友達や家族、一人でも楽しめる

市内で3番目に小さいまちですが、公園の数は251カ所もあります。垂水健康公園や平磯緑地など駐車場を備えた大きな公園もあります。\*8



美容室・理容室の数 **2位**

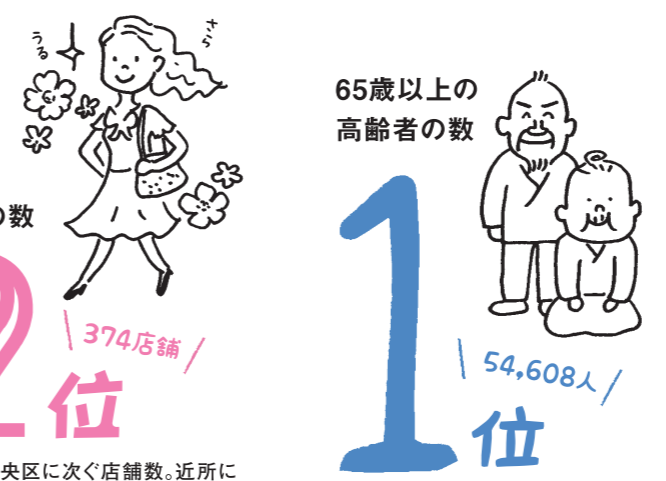
374店舗!

65歳以上の高齢者の数 **1位**

54,608人!

市内で中央区に次ぐ店舗数。近所に美容院があるのはうれしいですね。\*5

市内で最も高齢者が多くいっても、まちには病気知らずの元気な人がたくさん。趣味に打ち込んだりスポーツに汗を流したり、地域でボランティア活動をしたりと大活躍です。\*4



親世帯と子世帯の距離が近い!

市内で **1位**

居住年数5年未満の世帯の6割が市外からの転入。その理由の1位は親族が住んでいるから!

同じ区の中で程よく近い距離に暮らしている高齢の親世帯と子世帯、孫世帯が市内で最も多い垂水区。子育てに協力してもらったり、高齢の親を見守ったり、おかずを分けあったり。3世代近居も珍しくありません。\*1



原付の保有数 市内で **No.1**

坂が多く、小さな路地が多い区内では原動機付自転車が強い味方です。駅周辺には駐輪場がいくつもあります。\*10



区内にある駅数 **10個**

通勤・通学は車・バス・電車 みんなイロイロ

三宮直通バスもあるよ!!

快速停車駅は2駅

垂水駅から出ているバスは16路線

東西7km、南北5kmの小さな区内にJRが3駅、山陽電車が7駅と充実しています。鉄道から離れた北部には、JR「垂水」「舞子」駅を起点にしたバスが運行。市営地下鉄「学園都市」や「名谷」へのアクセスも良好です。\*11



市営地下鉄「学園都市」からは **23分**

市営地下鉄「名谷」からは **18分**

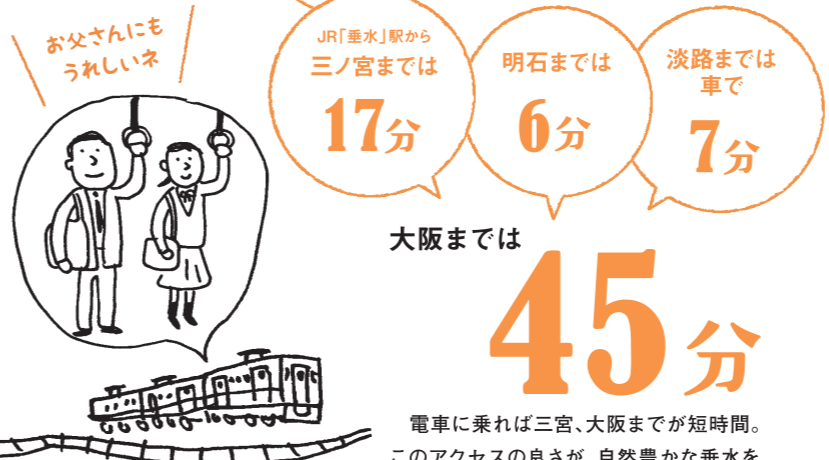
JR「垂水」駅から三ノ宮までは **17分**

明石までは **6分**

淡路までは車で **7分**

大阪までは **45分**

電車に乗れば三宮、大阪までが短時間。このアクセスの良さが、自然豊かな垂水を生活の拠点にしながら区外で仕事をするライフスタイルを可能に。ちょっと足を伸ばせば四国旅行にも出かけられます。



人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は市内全体で **8位**

家族で住むのに安心できる地域なんです。

子どもたちの登校時の見守り活動や下校時の声かけ運動など、地域の人たちの見守りが犯罪の少ないまちにつながっています。また、高齢者向けの犯罪予防教室が地域福祉センターで開かれています。\*12



神戸市内での住宅数 **No.1**

実は... 空き家数でも **No.1**

市内3位の人口の垂水区には築年数の古い空き家が増えています。駅前立地を生かして駐輪場にしたり、懐かしい雰囲気店舗に活用したり。区では空き家の活用策を検討していきます。\*2



\*1,2.平成25年住宅・土地統計調査 \*3.厚生労働省大臣官房統計情報部調べ(平成21年1月) \*4.平成22年国勢調査 \*5.平成24年経済センサス \*6.平成26年子ども家庭局調べ \*7.神戸市・毎月推計人口(平成28年1月1日) \*8.平成25年建設局調べ \*9.平成22年国勢調査 \*10.国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部、行財政局調べ(平成26年3月) \*11.平成27年12月末調べ \*12.平成25年兵庫県警察本部調べ



初めてパパママになる人に、助産師が妊娠や出産、育児に役立つ話をしています。参加者同士の交流もあるので、ママ友・パパ友もできます。ますます赤ちゃんに出会えるのが楽しみになります。(月1 日曜日午後、垂水勤労市民センター)

## プレ・パパママセミナー



子育てサークルで体験をする親子

子育て中のママや0歳から就園前までの子どもが集まって親子遊びやママ同士の交流、情報交換を行っているサークルが区内各地に37あります。地域福祉センターや児童館など身近な場所です。1回から月に数回活動しているので、ママ友と知りあったり子育て情報を手に入れたりしたい人は尋ねてみましょう。

また、児童館や地域福祉センターでは、季節ごとに夏まつりやクリスマス会、お餅つきなど地域の特色にあったイベントを開催しています。だれでも参加できるイベントも多いのでぜひのぞいてみてください。

## 子育ての仲間づくり



児童館で遊ぶ親子



学童保育で放課後を過ごす小学生



子育てサークルで先輩ママと交流する親子

基本的な部分から教えるように心がけています。堅苦しい雰囲気ではないので、気軽に参加してほしいですね。

学生チューター 柴田さん



学生チューター 松尾さん



経済的に苦しい家庭向けに地域の大学生(学生チューター)が子どもに寄り添って丁寧に勉強を教えてくださいます。「学校の授業のペースが速くて追いつけない」「学校では質問できない」といった子どもを支えます。勉強以外の悩み事も年の近いお兄さんお姉さんに相談できるので、学校以外の子どもたちの大切な「居場所」になっています。

## 学習支援事業

園で遊んで給食体験



区内に保育所保育園が22カ所、認定こども園が14カ所、小規模保育事業等が24カ所あります。親子で遊べるように園庭開放したり、親子で遊ぶプログラムを用意していたり、一時保育をしていたりと子どもがいる家庭の交流の場としても利用されています。

幼稚園は14カ所。就園前の子どもを対象としたプログラムを行って遊び場を提供しています。また、園児以外の預かり保育をしている園もあります。

## 幼稚園・保育所(園) 認定こども園・小規模保育事業

## 垂水区のまちづくり① より子育てしやすいまちに

子どもたちの笑顔と元気な声があふれるまちを目指し、垂水区では地域で子育てを支える取り組みを進めています。先輩ママと気軽に出会える体制や、育児をしている人同士が交流できる機会を作り、地域全体で子どもたちを育てています。

## 子育てで役立つ問い合わせ先

### 子どもの急病やけがで困った時

#### 小児救急医療電話相談

子どもが急に病気になるたら、まずはかかりつけの医師に相談してください。夜間や休日は電話相談があります。看護師または医師による助言と医療機関を紹介してくれます。TEL (078) 731-8899(月曜～土曜18時～24時、休日9時～24時)

### 地域のイベントや親子の遊びの場

#### 地域福祉センター・児童館

地域福祉センターや児童館は地域の子育て支援の拠点です。親子遊びやママ同士の交流、情報交換の場になっています。

身近な地域福祉センターを知りたいときは

垂水区まちづくり課  
TEL (078) 708-5151

身近な児童館を知りたいときは  
垂水区子ども家庭支援課

TEL (078) 708-5151



### 相談も子育て教室も

#### 垂水区子ども家庭支援室

妊娠・出産・育児に関する疑問や悩み保健師等の専門職員が対応しています。乳幼児健診や予防接種、子育てに役立つ講座や子育て教室等の各種事業も行っています。TEL (078) 705-1150

### 保育士さんが常駐しています

#### 子育て応援プラザ垂水

経験豊かな保育士が関係機関と連携して子育て支援に取り組んでいます。子育て相談はもちろん、子育て広場の開催や子育て情報も発信しています。TEL (078) 704-2872

### 楽しい読み聞かせイベントも

#### 垂水図書館

児童書のコーナーや赤ちゃん絵本のコーナーが設けられています。絵本の読み聞かせ会や紙芝居も行っています。TEL (078) 709-7712

主任児童委員として活動する

中村真知子さん ⊕ と  
乙木地域で活動するフレンドママ

子育てをしているママたちや、地域の中で安心して暮らして欲しいと願っています。ぜひ、児童館の行事などを気軽に子育てについて話せる機会として活用してほしいです。乙木地域では、子育て関係者が3か月に1回、顔を合わせて意見を交換して専門家とつながっている安心感があります。これからも地域のママたちと顔の見える関係を築いていきたいです。



地域には子育てのことを気軽に相談できることもサポーターがいます。地域のことを教えてくれたり、行政機関とのつなぎ役をしてくれたり。身近に相談相手がいなくても、主任児童委員とフレンドママと一緒に家庭訪問して子育て情報を伝える「フレンド訪問」があります。また、主任児童委員が中心となってフレンドママや保健師児童館、保育園、幼稚園といった地域の子育て支援関係者がつながり、情報交換をしている地域もあります。小学校の行事に親と一緒に来ている未就学児をフレンドママが預かるなど連携も進んでいます。

こどもサポーター  
(主任児童委員)を  
中心とした  
子育てサポート

## 地域全体が子どもを見守ります ～子どもの安全・登下校時の見守り活動～

登校時にあわせて子ども見守りサポーターが通学路に立って事故がないよう見守っています。また下校時には散歩や買い物の際に声をかけるなど、地域の大人と子どもがお互い顔の見える関係作りを心がけています。





多聞台団地の住民が発行する広報紙

昭和40年代に建てられた多聞台団地は少子高齢化が進んできました。そこで今、地域の人が中心となって行事を開いたり、朝市を行ったり、移動販売車を走らせたりと、まちを一層元気にする取り組みを始めました。その成果は、オールドニュータウンの再生モデルとして注目されています。

### ニュータウンの再生



垂水商店街には、魚の扱いや写真撮影、お菓子作り、お金の知識など多くのプロフェッショナルがいます。彼らが講師となって、プロならではの知識や情報を無料で買い物客に伝える少人数制の「まちゼミ」を開催しています。また、昔からの雰囲気が残る垂水駅前中央地区では、その魅力が一層高まるまちづくりを検討しています。さらに、あちこちの商店街や市場が楽しいまち歩きのできるにぎわいを目指しています。冊子「たるみりよく」では、そんな魅力的な人や店舗をたくさん紹介しています。

### 商店街の にぎわいづくり



空から見た垂水のまちの海岸線

ジェームス邸



神戸ランニングフェスティバル



垂水漁港



福田川

### たるみの魅力 発信会議

幅広い世代、職種の人に集まってもらい、垂水区の魅力について話し合う会議を定期的に開催しており、まちづくりの参考にしています。



### 高齢者の健康づくり

高齢者を含めてすべての人が健康に暮らせるよう、区内各地にウォーキングコースを設定してまち歩きを進めています。春の福田川沿いや夏のアンジュール舞子から舞子公園の海岸線など、季節ごとの心地良さをいっぱい感じられます。



### 地域防災力の向上

まちづくりの基礎は安全で安心して暮らせること。地域で防災訓練や市民防災リーダー・市民救命士の育成が進んでいます。また災害時に要援護者を支援する取り組みも行われています。

## より暮らしやすく魅力あるまちに 垂水区のまちづくり②

穏やかな瀬戸内海が眼下に広がる垂水区は、日々の暮らしに潤いを与える美しい景観と史跡に恵まれた地域です。快適で心地よい住環境づくりを進めるとともに、多くの人が訪れるまちを目指し景観を生かしたさまざまな取り組みを行っています。

### 誰もが安心して歩けるまちを目指して

お年寄りや体の不自由な人、子ども連れのお母さんなど、誰もが安心して暮らせるように、地域の特徴に合わせて、交通環境の改善を進めています。



塩屋で導入試験が行われたコミュニティバス

### コミュニティバスの導入支援

生活に密着した道路整備のあり方を地域のひとともに検討しています。坂道と昔ながらの細い路地が多い塩屋では、公共交通機関が通らないエリアの不便を解消しようと、2014年からコミュニティバスの導入を進めています。

塩屋コミュニティバスを走らせる会会長 原田幸男さん



塩屋のまちは、海や山に近く昔ながらの狭い道に良さがあると思っており、まちの雰囲気を変えずに安全な住みよいまちづくりについて住民で議論を重ねてきました。回覧やチラシ、会議の内容を知らせる便りの発行などで、地域の皆さんに情報を発信してきました。2016年の2月にはコミュニティバスの試験運行を実施。今後は利用者を増やして、バスの定着につなげていきたいです。

神戸市建設局垂水建設事務所 安全推進担当係長 村上卓哉さん



これまで歩道の段差や波うちの解消などを進めてきました。今後は「坂道が多い」といった、より地域の課題に沿った整備、具体的には坂道や階段、急斜面を安全に歩けるよう、ベンチや手すり、スロープを設置していきます。子ども連れの人やお年寄りも外出しやすい、歩きやすい道路に改善していきます。

### 人に優しい道路づくり



坂道に取り付けられた手すり、急な坂道の途中に設置されたイス(左階段2丁目)

地域の課題に対応した整備を行い、すべての人が生活しやすい道路づくりを行います。

### 区内外に魅力を発信



Interview 垂水観光ボランティア 小川一夫さん

住んでいる場所を学ぶよい機会だと思い、観光ボランティアになりました。区内には観光名所も、これから観光資源にできる場所もたくさんあります。私が特にPRしたいのは五色塚古墳。国生みの鳥淡路島を目の前に、敷地内に入れて登って見渡せば、葦石も当時のものという、全国にも誇れる遺跡です。区外の人からはなぎさ街道も人気です。垂水の今を知ることのできる場として、ものづくりの現場を取り入れた観光コースを始めたいですね。

### 恵まれた公園を満喫して



Interview (公財)兵庫県園芸・公園協会 舞子公園管理事務所所長 西村昌隆さん

松、海峽、大橋といった魅力がぎゅっとつまった雄大な公園です。園路の段差が少なく、ゆっくり巡れます。舞子ゆかりの和洋中の歴史的建造物もあり、家族でお弁当を持って遊びに来てください。広い芝生広場はイベントやお祭りなど地域活動の拠点として利用されています。

### 美しい海は垂水の財産



Interview 神戸市漁業協同組合 女性部部长 井上二三枝さん

昭和52年に海岸の清掃を開始しました。働く場である海を少しでもきれいにしたいと思い毎週日曜日に続けています。年に1回、地域の皆さんと合同で清掃を行っており、とても助かっています。マナーを守って、これからは美しい垂水の海や海岸を楽しんでほしいですね。

### 景観を生かした「多くの人が訪れるまち」づくり

沿岸部の施設の事業者による「垂水シーサイドネットワーク会議」を設立し、垂水区のPRを行っています。事業第一弾は沿岸部の魅力を紹介するプロモーション動画。ドローンを駆使した空撮の映像はヨーロッパのリゾート地のよう。また、マリニピアから舞子公園までランニングを楽しむ神戸ランニングフェスティバルを開催するなど、海岸線の魅力を発信しています。また、垂水区内のさまざまな魅力を発信していくために、観光推進協議会が、区内の名所・史跡を案内する観光ボランティアを育成しています。





### 第24回 垂水区民総合文化祭



#### 垂水区民総合文化祭

区民参加の身近な芸術祭。絵画や書、写真、短歌に川柳などの作品展示と音楽祭で、芸術の秋を堪能できます。  
垂水生活文化協会(区まちづくり課内)  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450

垂水区民の一大イベント!

#### 垂水区総合防災訓練

災害への備えを共有するための訓練で、消火や負傷者の搬送、仮設トイレの組み立てなど、いざという時に役立つ知識を学びます。家族での参加も大歓迎。  
垂水区総務課  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-5106

### 1月

#### 追儺式(鬼追い)

悪鬼を払い、疫病を除く儀式で、面を付けた鬼がたいまつや斧などを持って踊ったり餅などをまく、古くからの行事です。

#### 伝統芸能

区内では、さまざまな伝統芸能が受け継がれ、区民に親しまれています。ぜひ、お近くで行われる行事に参加してみてください。

多聞寺、明王寺、転法輪寺で行われます



引取り神事の様子

### 11月

#### 響けハーモニー

区内に音楽を広めようと活動する垂水区音楽協会が主催する演奏会。垂水声楽アンサンブルコンクールの入賞者や、区内で活動する音楽グループが演奏を披露します。  
垂水区まちづくり課  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450

秋

- 下畑海神社 ●舞子六神社
  - 多聞六神社 ●奥畑大蔵神社
  - 瑞丘八幡神社 ●海神社
- で9日～12日ごろに開かれます

#### 秋祭り

瑞丘八幡神社や奥畑大蔵神社、多聞六神社、宮野尾神社では獅子舞、下畑海神社では神相撲、海神社や舞子六神社では布団太鼓の巡行などが行われます。

### 10月

#### 区民スポーツの日

日頃の運動不足を吹き飛ばす充実の体験コーナーを用意。トランポ・ロビックスなど珍しい種目もあります。



#### 公募作品展

10月から募集開始

日本画、洋画、書、写真、手工芸の分野で作品を募集し、区役所内で展示します。創作意欲を高めたり、知人の作品を見つたり、区民に親しまれているイベントです。  
垂水生活文化協会(区まちづくり課内)  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450

#### たるみ生き活き保健福祉フェア

健康に関する相談コーナーや区内の福祉施設の活動紹介を行います。子どもたちには、歯医者、薬剤師体験コーナーが人気です。  
垂水区健康福祉課  
TEL(078)708-5151 FAX(078)706-2329

### 9月

#### 神戸垂水よさこいまつり

全国から集まったグループが、よさこいを披露。海と明石海峡大橋を背景にした舞子公園は人気の撮影スポットです。  
神戸垂水よさこいまつり振興会事務局(区まちづくり課内)  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450



垂水 YOSAKOI FESTIVAL

年間通し多彩なイベントを開催

#### 垂水文化講座—井植記念館—



三洋電機株式会社の創業者、故井植歳男氏の功績を伝える施設。記念館では年間を通して文化的な催しを企画しています。4月から始まる垂水文化講座は、関西や神戸を拠点に活躍する研究者や経営者らが最新の内容を講演します。また年2回、音楽コンサートが開かれています。

垂水文化講座—井植記念館— TEL(078)751-5216 FAX(078)751-7696

伝統行事やスポーツ、イベントなど

## 熱くて楽しい! いち押し年間イベント

季節や伝統を身近に感じることができる行事が年間を通して盛りだくさん。積極的に参加してもっと垂水を好きになりましょう。

### 4月

#### 観光ガイドツアー

観光ボランティアと区内の見所を巡るガイドツアーが始まります。定番のなぎさ街道、舞子や名谷の桜の美しいハイキングコースなどを紹介するパンフレットを区役所で配布しています。

垂水観光推進協議会(区まちづくり課内)  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450



### 5月

#### たるみっこまつり

区内で活動するサークル、団体が大集合。ステージイベント、模擬店やバザーなどで盛り上がります。

神戸まつり垂水区協賛会(区まちづくり課内)  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450



たのしいイベント盛りだくさん!



### 6月

古墳三昧の日

#### 五色塚古墳まつり

県内最大の前方後円墳、五色塚古墳を舞台に開かれます。勾玉や埴輪づくりが体験できるほか、子どもたちが古代人に扮して古墳の周囲をパレードします。

神戸市埋蔵文化財センター  
TEL(078)992-0656 FAX(078)992-5201



### 8月

#### 夏祭り

飛び入り参加ももちろんOK!!



「垂水の盆踊り大会」や納涼夏まつりなどが開かれます。保存会や青年団の力で、歴史ある垂水音頭、舞子音頭、塩屋音頭が継承されています。

#### たるみ平成万葉集

垂水にゆかりのある歌が万葉集に収められていることから、平成の万葉集を作ろうと始まった企画。区内に在住・在勤の人や垂水にゆかりのある人から、短歌・俳句・川柳を募集しています。

垂水生活文化協会(区まちづくり課内)  
TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450



### 8月から募集開始

夏と思ったら海!! 海と思ったら垂水!!

### 7月

#### 海びらき

アジュール舞子は海水浴場の設備が充実! 明石海峡の見える、地元の海で夏を満喫しましょう。

神戸市公園緑化協会  
TEL(078)795-5657 FAX(078)795-5544



毎年恒例の海開きイベント

次のページは区内で行われているスポーツを特集



伝統行事  
ピックアップ

## 伝統芸能を今に伝える ～下畑海神社で神相撲が復活～

子どもたちが相撲を奉納する神事(神相撲)が200年以上にわたって続いてきた下畑町の秋祭り。一時は存続が危ぶまれる状況でしたが、地域に開かれた祭りとして生まれ変わり、伝統を今につないでいます。



### 開かれた秋祭りで郷土芸能を継承

垂水区郷土芸能保存会理事、前下畑町会長  
正木真一郎さん

神相撲は下畑町で生まれ育った子どもの中から、年齢などの条件に当てはまった7人が執り行います。しかし、子どもの減少などから2009年、2010年と秋祭りを開けず神相撲は中断してしまいました。当時、下畑町会の副会長を務めていたので続ける方法はないかと悩みました。それまで縁はなかったのですが「秋祭りを再開するにはお相撲さんに協力してもらう以外にない」と考え、日本相撲協会の扉を叩きました。幸いにも2016年の初場所でも初優勝した琴奨菊関に下畑町に来ていただけることになり、2011年の秋に神相撲は再開しました。神相撲の終了後に誰もが気軽に力士と相撲がとれるようにしたことで、今や地域外からも問い合わせがあるなど人気ある祭りとなりました。



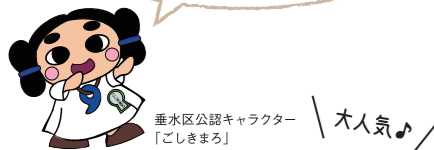
2011年に再開した神相撲(下畑海神社で)

垂水のゆるきやら  
ピックアップ

## 区のマスコット ごしまろが 活躍

垂水区の魅力の発信に貢献しているのが区公認キャラクターの「ごしまろ」。たるみ観光大使として、広報紙やイベント、グッズなど、さまざまな場面に登場しています。

5世紀ごろの「五色塚古墳」からタイムスリップしてやって来た男の子。まちで見かけたら声をかけてください☆



支援制度  
ピックアップ

## 垂水魅力アップ活動助成で 新しい文化・交流を創り出す

「暮らしやすい」「住んで良かった」と思えるまちを実現するため、区では垂水魅力アップ活動事業で、区民自ら企画・提案・実施する取り組みを後押ししています。活動の準備、企画段階から、活動までの経費の一部を助成(上限30万円、最長3年間)します。

活動紹介

たるみとあつぷ

### バーベキューで 垂水をもっと好きに

一般社団法人ブリッジバイクオリティ  
増田幸市さん



住んでいる人同士がバーベキューを通して楽しく交流する機会をつくっています。「たるみとあつぷ」は、アジュール舞子など区内の魅力的な場所で、地元の人から地域の魅力を学んだり、漁協や商店街の食材を味わったり、垂水ならではのバーベキューを通して垂水の新しい魅力を発見するイベントです。他の助成対象団体と連携して、もっと交流を広げていけたらと考えています。



hahaかふえ

### 子育てを一緒に 楽しみましょう

hahaかふえ代表  
西谷真弓さん



子どもたちが地域のお店を巡るハロウィンパレードや子育て中のママが地域の人と料理を楽しむ親子カフェ、農業体験など、「ママと子どもが笑顔に」をテーマに活動しています。子育て中のママ同士がつながるきっかけを作るために何かしたい、と考えていた時に役立ったのがこの助成です。子どもたちの保険代や会場費など、とても助かりました。地域活動を考えている人は、ぜひこの助成を利用して思いを形にしてほしいです。



助成の申し込み、問い合わせは垂水区まちづくり課 TEL(078)708-5151 FAX(078)708-7450

スポーツ  
ピックアップ

## 楽しく真剣に体を動かそう

気軽に参加できるスポーツイベントから、真剣勝負の大会まで。お気に入りの競技で、気持ちのいい汗を流しましょう。



11月開催

### 区民ふれあいハイキング

希望者は誰でも参加できる、和気あいあいとしたハイキングです。



6月開催

### 垂水区長杯家庭バレーボール大会

ママ選手が頂点を目指して熱い戦いを繰り広げます。



2月開催

### 小学生ドッジボール大会

小学生3～4年生がリーグ戦を戦います。



3月開催

### 少年剣道大会

道場やクラブに所属する小・中学生が腕を競います。



12月開催

### ロードレース大会

垂水健康公園内を子どもから大人までが走り抜けます。親子レースも人気です。

### 競技別・イベントカレンダー

種目	大会・イベント名	対象	開催時期
バドミントン	垂水区バドミントン大会	区内在住・在勤・在学の高校生以上	4月
バレーボール	垂水区長杯家庭バレーボール大会	区内在住の主婦	6月
剣道	垂水区剣道選手権大会	区内在住・在勤・在学・区内道場に在籍	8月
ソフトテニス	垂水区民ソフトテニス大会	区内在住・在勤・在学・区内クラブに在籍	8月
卓球	垂水区卓球大会	区内在住・在勤・在学	8・9月
陸上	垂水区ロードレース大会	区内在住・在勤・在学	12月
	垂水区小中学生駅伝大会	区内小学4～6年生、中学1・2年生	1月
ドッジボール	小学生ドッジボール大会	区内小学3・4年生	2月
ソフトバレーボール	区民ソフトバレーボール大会	区内在住・在勤・在学	3月
グラウンド・ゴルフ	区民グラウンド・ゴルフ大会	区内のチーム	3・5・11月
ハイキング	区民ふれあいハイキング	一般	3・5・9・11月

問い合わせは垂水区体育協会事務局(垂水区まちづくり課内) TEL(078)708-5151 ※諸事情により日程等、内容が変更される場合があります

まちを盛り上げる  
イベント・行事をもっと詳しく





もっと詳しく

個性豊かな6エリア

垂水区は、地形や歴史の地域特性から6地区(生活文化圏)に分かれています。各生活文化圏では、それぞれ特色あるまちづくりが進められています。活動をとりまとめる部会長の皆さんにまちの雰囲気について語ってもらいました。

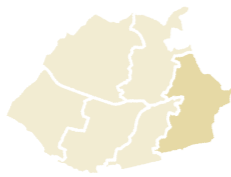
垂水区の花  
ゼラニウム



塩屋・下畑 SHIOYA・SHIMOHATA



塩屋・下畑  
生活文化圏部会長  
北川 保幸さん



- 1.昔ながらの商店が並ぶ塩屋の路地
- 2.農村の行まいが残る下畑のまち
- 3.秋祭りでは奉納神相撲と赤子ころがしが行われる下畑神社
- 4.塩屋のまちを探索するイベントを楽しむ参加者

昭和の雰囲気漂う人情のまち

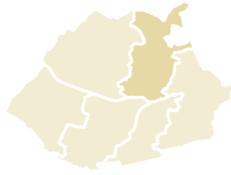
菅原道真や源平合戦に由来する史跡、かつて外国人住居であった洋館神社や仏閣、昔ながらの商店街など、歴史と文化の薫りが漂うまちです。細い路地が特徴的で海を見渡せる温暖な気候の塩屋地区と、緑のあるのかな町並みが農業の盛んだった頃の姿を伝える下畑地区に分かれます。私が生まれ育った塩屋は、穏やかで優しい人情のまち。近所の人の見守りの目があるので、子どもが安心して暮らせます。古くから暮らす人と新しく暮らし始める人との融合もうまくいっていると思います。「住み続けたいまちを作りたい」という思いを持って、幅広い世代が活動しているのも特徴です。商店街を中心としたイベントは地域外から人を集め定着しています。江戸時代から伝わる盆踊り「塩屋音頭」を継承しようとワークショップが開かれ、「塩屋音頭保存会」に所属する私も講師として出向きました。世代を越えた交流が息づいています。若い人も塩屋に住むと楽しいと思います。



名谷 MYOUDANI



名谷  
生活文化圏部会長  
瀧原 啓勝さん



- 1.大きな竹に短冊をつる名谷ふれあいのまちづくり協議会が主催する七夕祭り
- 2.転法輪寺の鬼遊び
- 3.4.つつじが丘ふれあいのまちづくり協議会が行った地域のイベント
- 5.福田川で生き物に触れる子ども

福田川を中心に栄えた農村地域で、転法輪寺や明王寺の鬼遊び、奥畑・西名・東名地区の弓引き神事など伝統行事が脈々と受け継がれています。今も残る田畑や原生林、川沿いの散歩道、広々とした公園などが落ち着いた住環境を生み出しています。区が推進する花や緑でまちを美しく飾る取り組みに積極的に、花を育てている家庭が多いです。戸建てを中心に住宅やマンションも立地し、隣接する神戸市西区に通う学生など幅広い年代が混在します。地域内に大きな病院もあり、元気な高齢者が多くいます。住民をつなぐ役割をしているのが地域内の2つのふれあいのまちづくり協議会です。夏祭りや高齢者を招いた昼食会などを開催しています。私が活動する名谷ふれあいのまちづくり協議会では、七夕祭りで地域の竹を切ってみんなで短冊を飾ったり福田川への魚の放流体験を企画したりと、世代間交流の場をさまざまにつくっています。たくさんの方の住民がイベントに参加できる広い公園があるのもうれしいです。若い世代の地域活動への参加を楽しみにしています。

福田川を中心に農村風景のあるまち



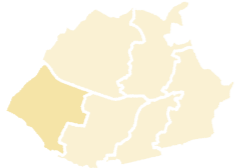




## 舞子 MAIKO



舞子  
生活文化園部会長  
藤本 篤志さん



1.区内の名所にもなっている「愛徳坂」と呼ばれる急な坂道 2.日本最大の石造りの恵比須さまと大黒さまに会える舞子六神社 3.舞子六神社の秋祭り 4.口説き語りといわれる踊り「舞子音頭」 5.近畿地方の代表的な縄文遺跡である大蔵山遺跡と区のマスコット、ごしきまる

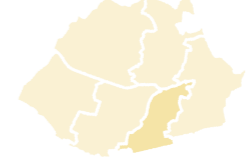
明石海峡大橋を見渡せる風光明媚な地域で、舞子公園、アジュール舞子といった観光スポットがあります。舞子坂に代表される坂の町でもあり、高台につながる階段を上ると目の前に広々とした海が広がります。この景色が当たり前すぎて、外出先で海と山が見渡せないと落ち着かないです。1000人規模の小学校を抱え、子育て世代が多く暮らす、落ち着いた住みやすい所だと思います。森林浴が楽しめる公園が点在するほか、歴史を身近に学べる大蔵山遺跡やきつね塚古墳もあります。舞子六神社の秋祭りや地区の運動会にはここ数年、若い世代の参加が増え、盛り上がりがあります。アクセスの良さも特色です。JRの快速や山陽電車の直通特急が停車するほか、高速バスのバスターミナルがあります。阪神間や淡路島、四国へも出かけやすく、三ノ宮や大阪に通勤する人が多いです。暮らすと、働くがバランス良く両立できるまちです。

橋と海の眺めに心安らぐまち

## 東垂水 HIGASHITARUMI



東垂水  
生活文化園部会長  
平林 正巳さん



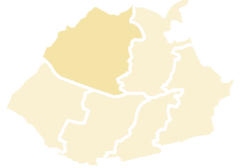
1.まち歩きに参加し、海の見える駅として人気の山陽電車「滝の茶屋」駅付近を歩く人たち 2.高丸小学校で行われる防災訓練を兼ねたふれあい運動会 3.目の前に瀬戸内海が広がる東垂水展望公園 4.正月に飾ったしめ飾りや書き初めなどを燃やす乙木小学校の左義長

神戸の初日の出が自慢のまち  
福田川の下流に向けて広がる、海に近い地域です。垂水の地名の由来にもなったといわれる滝や明治時代に建てられた灯台など、歴史を感じる場所があちこちに残ります。東垂水の魅力の一つは眺望です。井植記念館や東垂水展望公園からの眺めは大きな見所。海に近い山陽電車「滝の茶屋」駅からの初日の出もきれいですし、平磯緑地の恋人岬も素晴らしい景色です。活発な地域活動も自慢です。4つの学区ごとに住民で組織するふれあいのまちづくり協議会では、夏まつり、オセロ大会、こどもクッキング教室など住民同士の交流を図るさまざまなイベントを開催しています。防災訓練を兼ねた運動会など、楽しくても若い人も参加しやすい内容にしようと工夫しています。地域活動と学校との結び付きもあり、子どもたちを見守る大人がたくさんいます。小学校の下校時には老人会、自治会、婦人会、PTAの4者が連携して子どもを見守るなど、人とのつながりを感じることでできるまちです。

## 夕間 TAMON



夕間  
生活文化園部会長  
魚崎 幸子さん



1.熱気にあふれる地域の運動会 2.たかさんの子どもたちが遊ぶ夕間の公園 3.多聞寺のカキツバタ 4.多聞六神社の獅子舞

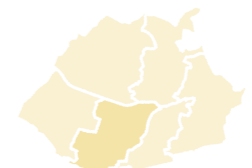
平安時代に創建された多聞寺を中心とした地域と、昭和30年代から神戸市のベッドタウンとして開発されてきた住宅団地からなる地域です。学園都市や舞子へのバスがあり、各地へのアクセスが便利です。公園は50カ所以上あり、緑に囲まれています。多聞寺の鬼追行事や多聞六神社の獅子舞などの伝統的な行事が、日常の生活の中に定着。みこしの担ぎ手として行事に参加するなど、子どもたちが地域と関わる機会にもなっています。平成28年度には、舞多聞に新しい小学校が開校します。子育て世代にとって暮らしやすい環境だと思います。親と子世代が近距離で暮らしている場合も多いです。子育て中のママたちを見守る地域の活動も活発で、子育て支援サークルに入る若い人が多く、児童館もよく活用されています。児童館と地域福祉センターが連携して、子どもたちと高齢者が行事の中で交流する機会もあります。「協同して互いに助け合える関係」が心地良い暮らしにつながっています。

緑に包まれたこれから育つまち

## 西垂水 NISHITARUMI



西垂水  
生活文化園部会長  
矢野 良晃さん



1.買い物客が行き交う「垂水」駅前の商店街 2.県内最大規模の前方後円墳「五色塚古墳」 3.垂水の春の風物詩、イカナゴ漁 4.丁寧に手入れをされた清水公園の市民花壇

ぶらり散策が楽しい路地のあるまち  
区役所や商店街、垂水漁港やアウトレットなどが集中する、垂水の中心な地域です。通学時間には学齢期の子どもの姿があふれ、休日には海辺でつりをしたり買い物をしたり、海岸通りをランニングしたりする人でにぎわっています。私が特に気に入っているのは、ほっと一息つける場所がたくさんある点です。区全体を進めている住民が手掛ける花壇や、青木禅寺の市民の木「クロマツ」など、町の中にと自然が出現するのが楽しいです。垂水を代表する神社「海神社」をはじめとして、徒歩で回れる範囲に神社・仏閣がいくつもあります。JR・山陽「垂水駅」から北東に伸びるエリアですが、地域内をバスが循環しているため車がなくとも駅までのアクセスに困ることはありません。また、新しく転入してきた人をそっと見守る地域のゆとりを感じます。ゆつくりと暮らしに溶け込める心地良さがこのまちにはあります。小さなお店やカフェもそろい、若者も気楽に住めるまちだと思います。





# 「住」のまちの強みを発揮、若者を呼び込む

古墳時代から1500年以上にわたって多くの人が住みついた「垂水」。人口減少社会にあっても人を引き付ける魅力にあふれています。これから垂水区はどのようなまちづくりを展開していくのでしょうか。



神戸マラソンでは約2万人のランナーが垂水を駆け抜けます。折り返しのまちとして、中学生のブラスバンドが応援の演奏をし、多くの人が沿道で声援を送ります。



垂水の子どもたちは地域に見守られてすくすく育っています。

## 垂水区で暮らす理由は「家族」と「景観」

垂水区の歴史は古墳時代にまでさかのぼります。五色塚古墳や山田川の周辺に、多くの古代人が住み着きました。明治に入り鉄道が開通すると、海沿いに皇族や資産家の別荘が建てられました。その後、神戸市のベッドタウンとして発展してきました。

このように「住」のまちとして栄えてきた垂水区。平成27年に区民に垂水区で暮らすことを決めた理由をアンケートしたところ、多くの人から上がった言葉が「親族」「景観」でした。海の青と山の緑がきれいな景色に囲まれて、子育てなどで両親に助けをもらい、家族や友人、地域のひとと快適に生活

健康な高齢者がとても多いのが特徴です。

垂水や塩屋の駅前商店街は区の自慢ですが、商店街以外にも区で制作した冊子「たるみりよく」に掲載したような魅力的な店がたくさんあります。また、坂のまちではありますが、バス網の充実や歩道に腰掛の設置など人にやさしい道づくりを進めています。

こうした垂水の魅力「たるみりよく」の一つ一つを磨き上げること、住む人が「心地いい」と感じるまちづくりを進めています。

## 景観を生かして、人を呼び込むまちに

垂水区は、ウォーターフロントの観光地としての魅力を備えています。平成27年度に、沿岸部の施設の事業者が連携する「垂水シーサイドネットワーク会議」を設立しました。マリニピアから舞子公園までランニングを楽しむ神戸ランニングフェスティバルを開催し、区外の人に海岸線の魅力を発信しました。こうした事業をより多く展開し、より一層、交流人口を増やすことで、多くの人が訪れるまちづくりを進めています。

## 「美感遊創」を実現するまち

区計画の作成に当たり、区民の意



している姿がうかがえます。区計画の策定に当たっては、こうした区の特徴をまちづくりの指針に、区民まちづくり会議や地域団体をはじめ区民の皆さんの意見を聞いて策定しました。

## 住む人がより

## 「暮らしやすい」まちに

両親の家まで15分。垂水区はこうした親族が区内に暮らす世帯の数が、神戸市内で一番多いまちです。「区民アンケート」でも垂水に住む理由の一番は「親族が近くにいるから」でした。また、垂水区は、古くからあるまちと昭和30年代以降、丘陵を開いて生まれたニュータウンが混在しています。舞多間のようなこれから大きく育つまちもあります。新旧のまちが融合して育つて



見の集約で中心的な役割を果たしてきた区民まちづくり会議の座長大塚喜治さんは「便利さだけではない、自然や文化、ゆとりといった暮らしやすさが求められる時代になっていると思います。今回の計画には、この住み心地の良さをどう伸ばしていくかを反映しています」と語ります。「美感遊創」とは、生活の中で出会うさまざまな美しさに感動し、暮らしや仕事の中に遊び心を見失わず、豊かな毎日を自ら創り出していくという意味です。これからのまちづくりはこの視点が大切。その上で、「阪神・淡路大震災を機に進めてきた、区内を6エリアに分けたまちづくりの成果が表れてきています。各地域の特色がまた、住み心地の良さにつながっていくのだと思います」と、新たなまちづくりの方向性に手応えを感じます。

垂水区は、昔から芸術や文化を愛好する人たちが多く住むまちです。生活に彩りや豊かさを与えるために、講座を受講したり、趣味として文化的な活動に取り組んだりする人が多い。市内で文化協会と音楽協会をもつて活動しているのは垂水区だけです。また、井植記念会のように文化事業を

区長がまちづくりの展望を語ります



垂水区長 竹田 尚弘

きた歴史があり、転入してきた人を温かく迎える、地域で人を育てる気風が育っています。

区では、こうした地域の力をより高め、転入してきた家族や1人暮らし等高齢者、1人親家庭等が孤立しないよう、身近に相談ができる人がいて、地域とともに安心して暮らせるまちづくりを進めています。

子育て世帯に対しては、地域の先輩マリフレンドママに身近な相談や支援をお願いできる制度が整っています。また、マどうしが交流・情報交換をしている子育てサークルは37（平成28年3月1日現在）もあります。

垂水区は65歳以上の人口が市内で最も多く、地域の中で健康づくりに取り組む運動を推進しています。地域の公園や川沿いでウォーキングを楽しむ

行っている民間施設もあります。この環境を生かし、知的好奇心や芸術的創造力を刺激されるまちづくりを進めています。

## 区計画がめざすまちの姿 程よく全てが満たされるまち

人は「住みやすいまち」「住みたいまち」を考えた時、社会資本の整備率、行政施策の充実度など、暮らしの指標のみで決めるわけではありません。むしろ、ついつい歩いてみたくなる路地、活気ある商店街、海に沈む夕日、にぎやかで楽しい夏祭り、適度に近い距離に暮らす家族、そうした数値にすることが難しい五感に訴える部分を大事にするのではないのでしょうか。垂水で暮らす若者は、「垂水はそこそこ温暖で、そこそこ学校や職場から近く家族や友人がいて暮らしやすい」と言います。生活に潤いを与え、心満たすさまざまな条件が、程よく身近にそろっているのが垂水というまちの魅力なのだと感じます。

さらに2020年に向けて、まずは安全に安心して生活できる環境の整備、体制づくりを基本に、五感に訴える心地いいまちづくりを進めていきます。